

フードドライブ



「もったいない」を「ありがとう」に



令和4年度 静岡市立城内中学校 教科3年生

はじめに

私達は9月13日に学校で行われたフードドライブに参加し、集まった食品の仕分け作業を手伝いました。学んだフードドライブのことをこのパンフレットにまとめました。このパンフレットを見てフードドライブについて、もっと多くの人に知ってもらえたらうれしいです。

フードドライブって何？

みなさんは"フードドライブ"という言葉聞いたことがありますか？
"「もったいない」を「ありがとう」に"を合言葉にして活動しているのを見たことがあるかもしれません。

フードドライブとは、家庭や企業などで余っている食品を寄付することで、食品ロスの削減に取り組みながら食べ物に困っている人を支援する活動です。寄付した食品はフードバンクに運ばれ、そこから食料に困っている人たちの元へ届けられます。近くのスーパーなど（しずてつストアなど）で**フードドライブ回収BOX**が設置されています。写真のような箱が回収BOXです。スーパーなどにあるこのBOXに食品を入れることで、支援者がフードバンクに行くことなく食品を寄付することができます。



「フードバンクふじのくに」とは

先ほどの説明に出てきたフードバンクについて説明します。静岡県には、「フードバンクふじのくに」があります。この団体の活動目的は以下の3つです。

1. 食べるものが無く生活に困っている人への食糧支援

日本では、年間約500～800万トンも食品が捨てられています。それにも関わらず、コロナの影響で仕事がなくなった、台風のせいで家が浸水したといった理由で、明日の食事にも事欠く人が増えています。フードバンクはそのような人達のために食糧支援をしています。

2. 食品ロスの削減

家庭で購入したけれど誰も食べなかった、買いすぎてしまったなどが寄付の理由として挙げられます。缶詰などを生産している企業から外装の破損などの理由で商品として出荷できないものを寄付してもらうことがあります。これにより、廃棄することによる環境への負荷の軽減、まだ食べられるのに捨ててしまう食品を減らすことができます。また、企業にとってはそれらに加え、不良品の処分費用の削減がメリットとしてあります。

3. 災害が発生した時の食料備蓄

静岡県では大規模災害が起こることが予想されているため、災害発生時のための食料備蓄庫としての役割も併せ持っています。



food bank FUJINOKUNI
フードバンクふじのくに
「もったいない」から「ありがとう」へ

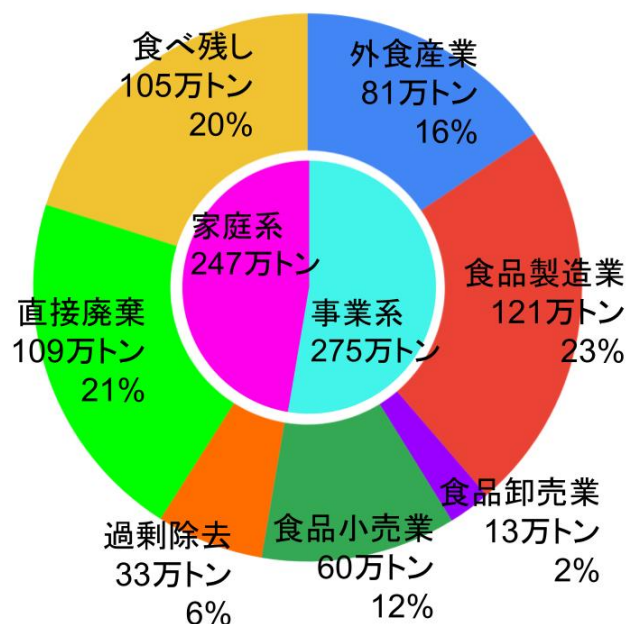
食品ロスと私達にできること

食品ロスの現状

食品ロスとは、まだ食べることができる食材なのに捨てられてしまうことをいいます。食品ロスは、日本で年間約522万トンあり、そのうち家庭で廃棄されるものが約247万トン(47%)、企業で廃棄されているものが約275万トン(53%)あります。下の円グラフはそのデータです。

(出典 農林水産省・環境省「令和2年度推計」より)

食品ロスの発生要因



将来、食料が不足する？！

現在の世界人口は約**80億人**です。保健衛生の進歩により人口は年々増えていき、2030年には約85億人、2080年には約**104億人**、その後2100年までその人数を維持すると予測されています。（世界人口推計2022年版より）
これから人口が増え続けると、世界の人々に十分な食糧が行き届かなくなる可能性があります。



また、地球温暖化の気候変動によって作物が育たなくなることも予測されています。環境省の調査によると、2100年頃には日本の気温は**平均1.5～4.5℃上昇する**という予測があります。（環境庁 令和2年気候変動影響評価報告書 総説より）これにより、日本全体の気温が上昇すると農作物の栽培に適した土地が減少し、収穫量が減少するかもしれません。そして、静岡市でも以下のようなことが起こる可能性があります。

地球温暖化によって静岡市で起こるかもしれないこと

- みかんやスルガエレガント、イチゴ、お茶、わさびなどの特産物の収穫量が減少したり、品質が悪くなったりする。
- 桜えびやしらすの漁獲量が減少し、静岡県よりも北の地域の特産物になる。
- 静岡県・静岡市を代表するブランド牛「静岡そだち」や「するが牛」、ブランド豚「ふじのくに」が暑さによって発育が悪くなる。
- 生乳の生産量は減少する。
- 静岡市より南の地域で育てている農作物が育てられるようになる。

これらのことが静岡市でも起こる可能性があります。一部の食品については生産量が増えるものもありますが、静岡市を代表するおいしい特産物が減ってしまう可能性があることはとても残念なことです。私達は地球温暖化と食料問題の対策を考えていかなければいけないと思います。

これからの私達が食糧問題で取り組むこと

地球温暖化によって日本の食料自給率がさらに下がった場合、食料を海外に依存する割合は高くなっていくかもしれません。しかし、現代の不安定な社会情勢を考えると、海外からの輸入ばかりに頼ってはいけません。二酸化炭素の排出量を減らしていくことや日本の食料自給率を上げることも大事ですが、私達が今すぐに始められることとして「**食品ロスを減らすこと**」があります。

私達にできること

家庭での**食品ロス**の**要因**は3つあります。**食べ残し**、**過剰除去**（食べられる部分を調理過程で余分にとって捨ててしまうこと）、**直接廃棄**（買ったのに賞味期限が過ぎて捨ててしまうこと）です。

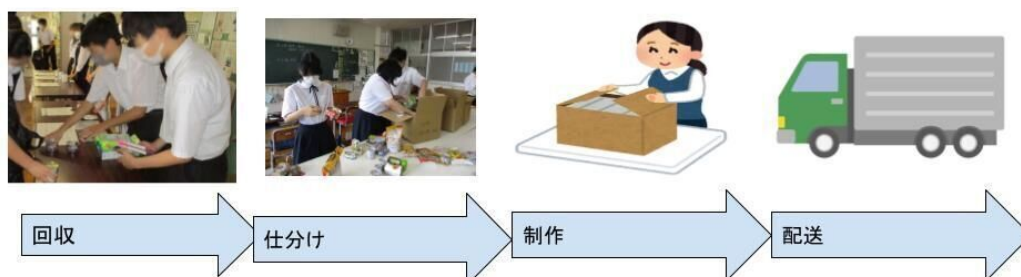
これら3つの要因で食品ロスは起こります。農林水産省及び環境省の調査によると、家庭での廃棄の中で一番割合が多いのは**直接廃棄**（109万トン）です。これを減らすために私達が家庭でできることに取り組んでいかなければいけません。冷蔵庫の中をチェックして**余分なものを買わないようにする**他に、**フードドライブ**という方法もあります。フードドライブは、家庭で余っている食品を、生活に困っている人へ配る取り組みのことです。

私達は、今年度9月に中学校で行われたフードドライブに参加しました。このパンフレットを通して少しでも多くの人にフードドライブについて知ってもらい、参加してもらえたら嬉しいです。



食品が依頼者に届けられるまでの流れ

1、回収	<p>フードドライブで食品を寄付します。フードドライブは企業、会社、学校、スーパーなどのお店で開催されています。</p>
2、仕分け	<p>フードドライブで回収した食品は、静岡県総合社会福祉会館内にある食糧保管倉庫へ運ばれます。</p> <p>段ボールに食品を詰める時にわかりやすくするために、食品を主食、副食、嗜好品などの食品の種類ごとに仕分けします。また、賞味期限、パッケージの状態などを確認します。</p>
3、制作	<p>食品が仕分けられたら、依頼が来るのを待ちます。</p> <p>主な依頼者は、自然災害などの影響を受けた人やお金がなくて十分に食べられない人です。その人達が支援団体に相談・依頼をします。</p> <p>依頼が来たら、社会福祉協議会もしくはボランティアの方が段ボールに食品を詰め、食品セットを作ります。セットを作る際には主食、副食、嗜好品をバランスよく詰めます。</p> <p>世帯の人数により、入れる食品の種類や量を変えています。例えば4人家族の場合では、米などの主食を多めに入れます。副食、嗜好品なども含めると総重量は20kgほどになります。</p>
4、配送	<p>食品セットを作り終えたら、依頼主の元へ食品セットを配送します。各地域の社会福祉協議会が食品を必要とする人の家まで届けます。</p> <p>例えば、配送先が伊豆の場合は、静岡市にあるフードバンクふじのくから伊豆の社会福祉協議会へ食品を送り、伊豆の社会福祉協議会が依頼主のところへ届けます。</p>



寄付可能な食品、不可能な食品

寄付可能な食品

- 主食（ご飯、パン、麺）
 - もち米を除く米類（雑穀米も可）
 - 乾麺、インスタントヌードル
 - 乾パン
- 副食&副菜（肉や野菜）
 - 缶詰
 - インスタントスープ
 - レトルトパウチ
 - 乾物もしくは干物（春雨やビーフンなどの物）
- 嗜好品（おやつ）
 - ポテトチップスなどのスナック類
 - ラムネ、チューインガム、飴などの菓子類
 - インスタントコーヒーやジュース等の清涼飲料水



しかし、寄付可能な食品があれば不可能な食品もあります。

寄付不可能な食品

- 生ものの等の賞味期限の短い食品
- 開封後の食品
- 冷凍又は冷蔵の物
- アルコール類
- もち米
- 防災用保存水
- 介護食品、健康食品
- ペットフード



注意事項

寄付不可能な食品は、フードバンクに届いたとしても廃棄されてしまいます。

できるだけ賞味期限の長い物を寄贈してください。

回収している場所や団体

**フードドライブ回収場所はいろいろあります
皆さんもフードドライブに参加してみましょう!**

- ・ 区役所
葵区役所・駿河区役所・清水区役所
- ・ 資源循環啓発施設
しずもーる沼上
しずもーる西ヶ谷
- ・ 静岡地域労働福祉協議会
静岡地区（丸伸ビル3階）
清水地区（清水テルサ2階）
- ・ 静鉄ストア
安東店・千代田店・あさはた店・いろは店・末広店・
新静岡セノバ店・流通通り店・田町店・丸子店・みずほ店・
宮本町店・入江店・御門台店・草薙店・興津店
- ・ その他
こくみん共済coop静岡
ユーコープミオクチャーナ 千代田店
静岡ガス株式会社 エネリアショールーム静岡
ファミリーマート 静岡城東町店



←このような回収ボックスを置いてありますので、
寄付するものを入れて下さい。

城内中学校でのフードドライブ 結果報告

城内中学校では、9月13日にフードドライブを開催しました。私達、教科3年生はPTAの方々と一緒に生徒が持ってきた食品を回収して、仕分け作業を行いました。以下の内容は、食品を主食・副食・嗜好品の3つのグループに仕分けをした結果です。

- **食品の総重量** : 約**210 kg**
ダンボールに詰めると**23箱分**でした。
特に缶詰が入っているものが重く、1箱20 kg 近くありました。

- **各分類の重量**

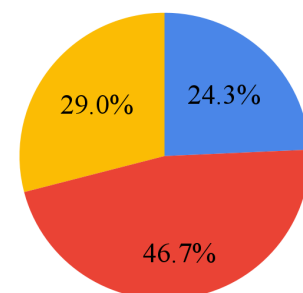
今回のフードドライブでは**副食**を持ってきてくれる割合が多かったです。

下にあるのは分類ごと（主食・副食・嗜好品）の重量です。

- 主食 51 kg（6箱分）
- 副食 98 kg（10箱分）
- 嗜好品 61 kg（7箱分）

集まった食品の内訳

● 主食 ● 副食 ● 嗜好品



- **集まった食品**

具体的に以下のものが多く集まりました。

- 主食 レトルトご飯やパスタ、うどんなどの麺類
- 副食 缶詰やレトルト食品、調味料
- 嗜好品 お菓子や茶葉、インスタントコーヒー



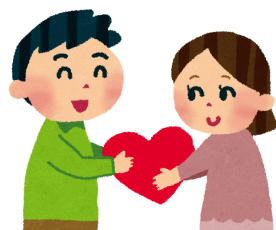
フードドライブで集まった食品を仕分けしている様子

食品を受け取った人の感想



フードバンクふじのくんに届いた感想を紹介します。

- お米や調味料など、生活していく上で必要な物も分けていただき本当に助かっています。ありがとうございました。
- コロナの影響で収入がなくなり頼れる人もいなかったとき、初めて利用させて頂きました。利用するには戸惑いもありましたが受け取ったときには感謝の気持ちでいっぱいでした。早く自力で生活を立て直せるように頑張ります。
- たくさんの食材と、買いたくても買えなかった調味料や缶詰まで、本当にありがとうございました。コロナで仕事も給料も減って食費がなくて困っていたので、本当に助かりました。感謝してもしきれないほどです。こんな時期ですが、前向きに頑張ります。
- とりあえず、お腹が満たされてさえいれば、次の行動する体力・気力になります。食べる＝生きる力です。生きていけば何とでもなります。ありがとうございます。
- たくさんの食材を頂きありがとうございます。赤ちゃんのミルクももらえてとても嬉しいです。
- 社協さん（社会福祉協議会）を通じてフードバンクの大きな箱をいただきました。箱の中には色々な食品、食材が入っており見ているだけでも楽しい気持ちになりました。コロナ禍で先の見えない不安もたくさんありますが、頂いた物を無駄にしないように、明日からまた頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございます。



フードバンクQ&A

フードバンクの方へ質問してみました。フードドライブに参加するときぜひ役立ててください。皆さんはフードバンクについてどれだけのことを知っているのでしょうか？



Q1 私達がフードドライブで食べ物を寄付する際、気を付けるべきことを教えてください。

A1 どうしても賞味期限の問題が出てきてしまうので、回収したらなるべく**早く**寄付をしていただきたいです。

Q2 「この食べ物が集まると助かる」という食品はありますか。

A2 **缶詰、レトルト食品、お菓子**などが利用者に喜ばれるため、常に不足しています。

Q3 フードバンクに集まった食べ物は、どのくらいの期間で利用者に届きますか。

A3 送られてきた商品にもよりますが、**早くても2週間から1ヶ月**くらいです。フードバンクに送られた食べ物は賞味期限、品質チェックを経て、棚に格納されます。このように期間がかかるため、賞味期限に制限をかけています。

Q4 フードバンクには色々な食べ物が集まっていると思いますが、1ヶ月でどれくらいの食べ物が集まっていますか。

A4 フードドライブがあるため、月による変動もありますが、平均すると**7～8トン**くらいです。年間90トンほどの寄贈があります。



Q5 フードバンクから利用者の方へ食品をダンボールに詰めて送ると聞きました。そのときに気を付けていることを教えてください。

A5 利用者の方からは社会福祉協議会などの窓口を通じ「利用分量」「世帯構成」「ライフライン、調理器具の有無」「アレルギー」などの情報をいただきます。私達は直接利用者の方と顔を合わせることはありませんが、頂いた情報からその方々が**喜びそうな食品**を箱詰めします。



Q6 食べ物を寄付することの他に、フードバンクに協力できることはありますか。

A6 協力して頂けるとうれしいのは以下の3点です。

- ①「**食品の寄付**」：今回のようなフードドライブなどです。
 - ②「**金銭の寄付**」：事業性がないため、運営資金が不足しています。
 - ③「**時間の寄付**」：人手不足のため、仕分けなどのボランティア活動をしていただきたいです。
- また、私たちの活動を知ることも協力することになります。

おわりに 私達がフードドライブに参加してみて

多くの方に協力してもらいたくさんの食品をフードバンクへ寄付することができました。ありがとうございました。

今回の活動で初めてフードドライブのことを知りました。やってみると、思った以上の食品が集まりました。賞味期限や箱が開いていないかを確認しながらの仕分け作業はとても大変でしたが、やっているうちに少しずつ楽しく感じるようになりました。この活動を通して、食品ロスやSDGsについて少し興味をもちました。学校で回収した食品が少しでも困っている人に届き喜んでくれるといいなと思います。